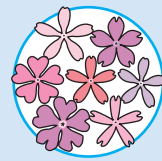


■生物多様性はなぜ大切？

- 「生物多様性」とは、生きものの豊かな個性とつながりのこと。私たちを含め、生きものは、長い生命の歴史のなかで、さまざまな環境に適応して進化した、関わり合いながら生きています。
- とくに私たちは、川から食料や水を与えてもらったり、森による気候調整によって守られたりと、**自然からさまざまな恵み「生態系サービス」**を受けて生活しています。
- 「生物多様性」は、こうした日々の豊かさや安全な暮らしに欠かせない生態系サービスを支えている、**私たちにとってかけがえのないもの**です。

生物多様性



遺伝子の多様性



種の多様性



生態系の多様性

自然の恵み(例)



食料を与える



災害を減らす



文化を育む



エコロジカル・ネットワーク

“かけがえのないもの”をどうやって守る？

■エコロジカル・ネットワークで守る生物多様性

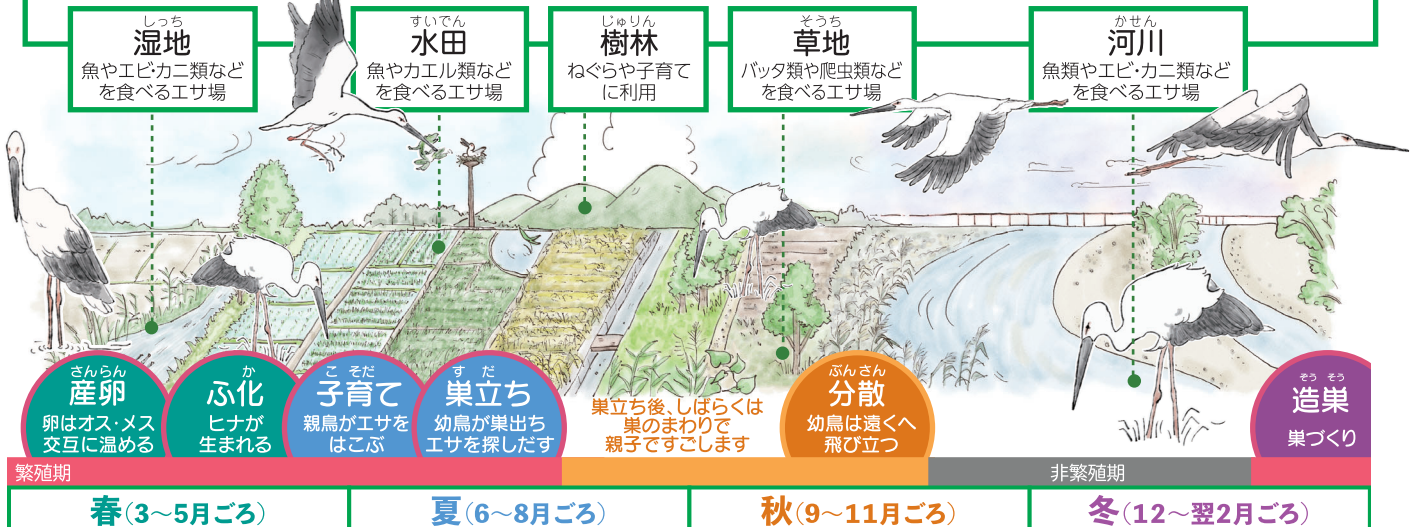
- この大切な「生物多様性」を守るためには、広く、さまざまな場所で、**全・再生**に取り組む必要があります。
- この取り組みを効果的に進めるには、河川・水路・水田・森林・公園などの自然地をつなげる「エコロジカル・ネットワーク」の考え方が重要です。
- 自然地のつながりを強くする**方法はいろいろで、例えば、自然地どうしをむすぶだけでなく、それぞれの自然地を大きくしたり、たくさんつくるのが効果的です。

“自然地のつながり”はなぜ大切？

■「自然地のつながり(≡エコネット)」をコウノトリの目線で考える

- コウノトリは日本最大級の大型鳥類で、田んぼ・川・湿地や草原など、エサの多い環境を探して季節ごとに移動したり、高い木の上で子育てをするなど、生きていくために**さまざまな環境を必要**とします。
- コウノトリも暮らせる生きものの豊かな水辺環境を保つには、たくさんの魚やカエル類が成長して繁殖できるよう、川や湿地や田んぼなどが、四季を通じて、広い範囲でつながっていることが重要です。コウノトリを守ることは、**さまざまなタイプの自然豊かな場所とそのつながりや広がりを守る**こと(エコロジカル・ネットワークの形成)といえます。

自然豊かな水辺のネットワークがコウノトリの生活を支えます。
これらの環境が繋がっている・たくさんある・ちかくにあることで、さまざまな水辺の生物が生息・生育できるようになります。



荒川流域の河川・水路・水田・森林・公園など多種多様な「自然豊かな場所」を守るには、さまざまな人・たくさんの力が必要です。自然を守るためにできることはないでしょうか… ぜひ、皆さんも、考えて・行動してみてください